

2000 年世界農林業センサス結果概要(解説・林家調査)

1. 林家数

(1) 総林家数

平成 12 年 2 月 1 日現在における千葉県林家数は 16,323 戸となり、平成 2 年と比べ 1,246 戸 (-7.1%) 減少した。

このうち、農家林家数は 10,150 戸 (総林家に占める割合 62.2%) で 3,622 戸 (-26.3%) 減少し、過去最大の減少率となった。

一方、非農家林家数は 6,173 戸 (同 37.8%) で 2,376 戸 (62.6%) 増加し、非農家林家の割合が大きくなってきている。(表 1)

地域別に林家数をみると、千葉地域が 2,462 戸 (構成比 15.1%) と最も多く、次いで君津地域 2,074 戸 (同 12.7%)、夷隅地域 2,037 戸 (同 12.5%) となった。

また、平成 2 年と比べると東葛飾、千葉、山武地域が増加したのに対し、他の地域は全て減少し、特に長生地域は 17.2%の減少となった。(表 2)

(2) 保有山林面積規模別林家数

保有山林面積規模別に林家数をみると、最も多い階層が 1 ヘクタール以上から 3 ヘクタール未満層で 12,242 戸 (構成割合 75.0%) となり、次いで 3 から 5 ヘクタール層の 2,057 戸 (同 12.6%)、5 から 10 ヘクタール層の 1,417 戸 (同 8.7%) となった。

平成 2 年と比べると、30 から 50 ヘクタール層及び 100 ヘクタール以上層を除きすべての階層で減少した。

林家別に構成比をみると、農家林家は 1 ヘクタール以上から 3 ヘクタール未満層が 75.6%、3 から 5 ヘクタール層が 13.2%、5 ヘクタール以上層が 11.3%となった。

一方、非農家林家は 1 ヘクタール以上から 3 ヘクタール未満層が 74.0%、3 から 5 ヘクタール層が 11.7%、5 ヘクタール以上層が 14.3%となり、農家林家に比べ 5 ヘクタール以上の層が多くなっている。(表 3)

2. 山林面積

(1) 保有山林面積

保有山林総面積は 51,826 ヘクタールで、平成 2 年に比べ 3,500 ヘクタール (-6.3%) 減少した。

そのうち農家林家が 27,758 ヘクタールで、9,089 ヘクタール (-24.7%)

減少し、非農家林家が 24,068 ヘクタールで、5,589 ヘクタール (30.2%) 増加した。

また、1 戸当たりの保有山林面積をみると 3.18 ヘクタールで、平成 2 年と比べ 0.03 ヘクタール (0.8%) 増加した。

これを林家別にみると、農家林家は 2.73 ヘクタールで平成 2 年と比べ 0.05 ヘクタール (2.2%) 増加したが、非農家林家は 3.90 ヘクタールで 0.97 ヘクタール (-19.9%) 減少した。(表 4、5)

保有山林面積規模別林家数の構成比をみると、1 ヘクタール以上から 5 ヘクタール未満層が 87.6%、5 から 10 ヘクタール層が 8.7%で、10 ヘクタール未満の階層が総林家数の 9 割以上を占めている。

一方、保有山林規模別に林家が保有する山林面積の構成比をみると、1 ヘクタール以上から 5 ヘクタール未満層が 52.4%、5 から 10 ヘクタール層が 17.8%で、10 ヘクタール未満の階層が約 7 割となった。

50 ヘクタール以上の階層では林家数は 0.2%に過ぎないが、山林面積は 12.1%を占めている。

(2) 所有林・貸付林・借入林（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家）

所有山林がある林家数は 4,081 戸で、所有面積は 32,604 ヘクタールとなった。そのうち貸付林がある林家数は 119 戸で、貸付面積は 426 ヘクタールとなり、また借入林がある林家数は 20 戸で、借入面積は 72 ヘクタールとなった。(表 6)

(3) 人工林（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家）

人工林のない林家数は 1,206 戸で 29.6%となり、人工林のある林家が全体の 70.4%を占めている。

人工林率別に内訳をみると、80%以上層の林家数が 1,406 戸(構成比 34.5%)で最も多く、次いで 40%以上から 60%未満層が 393 戸(同 9.6%)、20 から 40%層が 377 戸(同 9.2%)となった。(表 7)

人工林の面積は 13,557 ヘクタール（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家の保有山林面積に占める割合 42.0%）となった。

これを齢級別にみると、11 から 30 年生層が 4,486 ヘクタール（人工林面積に占める割合 33.1%）で最も多く、次いで 31 から 40 年生層の 4,190 ヘクタール（同 30.9%）、41 年生以上層が 3,551 ヘクタール（同 26.2%）となった。(表 8)

3. 林業従事世帯員数（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家）

過去 1 年間に林業に従事した世帯員数は 1,888 人となった。そのうち主に自営林業に従事した世帯員数が 1,845 人（林業従事世帯員総数に占める割合 97.7%）、主に雇われて林業に従事した世帯員数が 43 人（同 2.3%）となった。

過去 1 年間の従事日数をみると、年間 29 日以下の世帯員が 1,310 人で 69.4% を占め、30 日以上従事した世帯員は 578 人で 30.6% となった。（表 9）

4. 保有山林の作業実施状況（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家）

過去 1 年間に実施した保有山林の作業について、(1) 植林、(2) 下刈りなど、(3) 間伐、(4) 主伐の 4 作業に分けてみると、最も多く実施された作業は「下刈りなど」であり、次いで「間伐」、「植林」、「主伐」の順となった。（表 10）

(1) 植林

植林作業を実施した林家数は 252 戸（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家数に占める割合 6.2%）で、実作業面積は 111 ヘクタール（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家の保有山林面積に占める割合 0.3%）となった。作業実施林家のうち、委託・請負わせにより作業を行った林家数は 37 戸（作業実施林家数に占める割合 14.7%）で、委託・請負わせ面積は 34 ヘクタール（実作業面積に占める割合 30.6%）となった。

(2) 下刈りなど

下刈りなどの作業を実施した林家数は 1,195 戸（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家数に占める割合 29.3%）で、実作業面積は 1,683 ヘクタール（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家の保有山林面積に占める割合 5.2%）となった。作業実施林家のうち、委託・請負わせにより作業を行った林家数は 160 戸（作業実施林家数に占める割合 13.4%）で、委託・請負わせ面積は 711 ヘクタール（実作業面積に占める割合 42.2%）となった。

(3) 間伐

間伐作業を実施した林家数は 557 戸（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家数に占める割合 13.6%）で、実作業面積は 517 ヘクタール（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家の保有山林面積に占める割合 1.6%）となった。

作業実施林家のうち、委託・請負わせにより作業を行った林家数は 93 戸（作業実施林家数に占める割合 16.7%）で、委託・請負わせ面積は 170 ヘクタール（実作業面積に占める割合 32.9%）となった。

(4) 主伐

主伐作業を実施した林家数は 73 戸（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家数に占める割合 1.8%）で、実作業面積は 58 ヘクタール（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家の保有山林面積に占める割合 0.2%）となった。作業実施林家のうち、委託・請負わせにより作業を行った林家数は 24 戸（作業実施林家数に占める割合 32.9%）で、委託・請負わせ面積は 28 ヘクタール（実作業面積に占める割合 48.3%）となった。

5. 林産物販売林家数（保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家）

林産物を販売した実林家数は 133 戸で、保有山林面積 3 ヘクタール以上の林家数に対する割合は 3.3%となった。用材を立木で販売した林家が 26 戸、素材で販売した林家が 48 戸、ほだ木用原木を販売した林家が 24 戸、特用林産物を販売した林家が 49 戸となった。

また、家としての主業が林業である林家数は 26 戸となった。（表 11）